

～「Ubiquitous（ユビキタス）」とは「どこにでも存在する」を意味するラテン語。

「いつでも、どこでも、だれでも」が関わることのできるネットワーク環境のこと～

コミュニティサイトとは？ ～SNS（Social Network Service）～

コミュニティサイトとは、インターネット上のアプリケーションを通して共通の興味関心や目的を持った利用者が集まる場のことです。提供されるサービスの総称です。サービス内容は、電子掲示板、プロフィール、ブログ、チャット、メーリングリスト、クチコミ、ウィキ、ニュース、仮想空間などを組み合わせることによって成立しているものが多く、利用者相互（1対1）のメッセージ交換を可能にするパーソナルコミュニケーションツール（ミニメールなど）の機能を提供する場合があります。

今回は、SNSに代表されるコミュニティサイトについて紹介します。

コミュニティサイトの機能（例）

- ・**プロフィール**
ユーザーの自己紹介文（プロフィール）を掲載できる。
- ・**日記**
ユーザーが時系列に日記（ブログ）を掲載できる。
- ・**アルバム**
ユーザーが写真などをアルバムのように掲載できる。
- ・**お部屋**
仮想空間上のユーザーの部屋に友達を招待できる。
- ・**お友達**
ユーザーの友達のページへのリンク集。
- ・**訪問履歴**
ユーザーのページにアクセスした人の履歴。（リンク集）
- ・**お気に入り**
お気に入りのサイトやゲーム等へのリンク集。
- ・**ミニメール**
友達と1対1のメッセージ交換することができる。
- ・**ともだち検索**
居住地域や年齢などで他のユーザーを検索できる。

伝言板（掲示板機能）

電子掲示板の機能により、1対多数の情報交換をすることができる。記述者の名前がリンクボタンになっているので、記述者のページを見ることもできる。

サイト画面の例



コミュニティサイトは登録することで誰でも簡単に利用することができます。インターネット、特に携帯電話の普及に伴い、中高生を中心に利用者が急増しています。コミュニティサイトには、「記事や写真を掲載する」「新たな友達を見つける」「ミニメールで情報交換する」などコミュニケーションを促進する機能の他に、「特定のユーザーをブラックリストに登録する」「友達を解除する」などの機能も備わっています。基本的なサービスは無料というサイトが多いのが特徴ですが、オプション機能（有料アイテム購入など）を利用する場合には課金されます。

また、無料ゲームサイトなどを紹介するリンクがある場合もあります。この無料ゲームサイトも、基本的なサービスは無料ですが、ゲームを有利に進めるためのアイテムなどは課金されます。

インターネットの特徴である「匿名性」や、「無料」というフレーズを「過信」「悪用」した結果、児童生徒が被害者になったり加害者になったりする事例が全国的に急増しています。

コミュニティサイトの利用によるトラブルの現状！

- 警察庁 広報資料より
- ・非出会い系サイトに起因する児童被害の事犯に係る調査分析について (H22. 10. 28)
 - ・平成22年中の出会い系サイト等に起因する事犯の検挙状況について (H23. 2. 17)
 - ・コミュニティサイトに起因する児童被害の事犯に係る調査分析について (H23. 5. 19)

1 調査分析の趣旨

※ここでいう「児童」とは、18歳未満のことをいう。

近年、出会い系サイトに起因する児童被害の事犯が減少する一方、コミュニティサイト（出会い系サイトを除く。以下同じ。）に起因する事犯が大幅に増加していることから、関連事業者や保護者等による被害防止対策に役立てるため、事犯の詳細を調査分析したものを。

2 調査分析の対象

平成22年中に検挙したコミュニティサイトに起因する児童被害の福祉事犯等 1,541件
(被疑者 1,230人 被害児童 1,239人)

3 調査分析の概要

(1) 被害児童のフィルタリング加入状況等

- ・被害児童が携帯電話を使ってアクセスしている事犯が 89.1%
- ・被害児童がフィルタリングに加入していない事犯が 96.6%

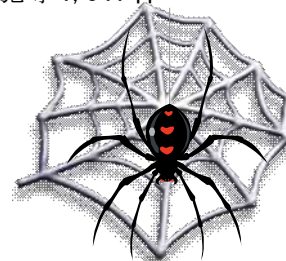
(2) 被疑者のミニメール利用状況

- ・被疑者がサイト内のミニメールを利用した事犯が 60.3%
- ・被疑者がミニメールから直接メールへ移行した事犯が、ミニメール利用事犯の 94.0%

(3) その他

- ・被害児童が、保護者からサイトの利用について注意されたことがない事犯が 71.1%
- ・被疑者の犯行動機については児童との性交目的 70.1%を含めて児童との接触目的が 90.9%
- ・被疑者が年齢等を詐称した事犯が 44.0%
- ・EMA*（エマ）認定サイトに起因する事犯が 53.8%

※EMA（一般社団法人モバイルコンテンツ審査・運用監視機構）の認定を受けたサイトは、フィルタリングの対象外となる。



4 今後の対策

- ・フィルタリングの100%普及
- ・実効性のあるゾーニング*の促進
- ・ミニメール内容確認等、サイト内監視体制の強化促進
- ・EMAへの情報提供（サイト認定・監視の強化促進）

※ゾーニングとは、利用者の年齢等属性に応じて利用可能なサービスを区別して設定すること。



コミュニティサイトに関わる指導のポイント！

大人が危険性を知ること！ ⇒ その危険性を児童生徒に伝えること!!

- ・フィルタリング機能を活用する。（アクセス時間帯制限、ブラックリスト、ホワイトリストなど）
- ・フィルタリングに掛からない「有名なサイトだから」といって安心しない。（利用は慎重に!!）
- ・個人情報を「教えない」「公開しない」。（メールアドレスや電話番号など）
- ・相手のプロフィールを信じない。（居住地域や年齢など）

次号の掲載内容（予定）

学校からの通知（児童生徒や保護者向け）のサンプルを紹介します。

生徒指導総合対策会議では、皆様からのご質問や、「こんな点を教えて欲しい」「こんな事例での対応策は？」など、身近な疑問についての質問をお受けしたいと思います。個別事例のご相談も可能な限り行いたいと思いますが、共通の話題として「ユビキタス@nagano」にもできる範囲で掲載したいと思います。下記までご連絡ください。

生徒指導総合対策会議事務局 担当：長野県教育委員会 教学指導課 心の支援室生徒指導係
Tel 026-235-7436（直通） Fax 026-235-7495 E-mail kokoro@pref.nagano.lg.jp

※「ユビキタス@nagano」は参考資料として情報提供しています。学校の実情に合わせてご活用ください。

ケータイ・インターネット指導のためのポータルサイト（指導資料等ダウンロードできます）

長野県教育委員会HP ⇒ 教学指導課（心の支援室） ⇒ ユビキタス@nagano

<http://www.pref.nagano.lg.jp/kyouiku/kyougaku/ubiquitous.htm>